

事業名

# 青少年の薬物乱用防止キャンペーン

実施団体

上京保護司会



保護司として保護観察をおこなう中で、最近特に顕著なことは、薬物事犯の対象者が多くなったことです。そしてその低年齢化が進んでいる現実です。小学校においても薬物乱用防止教室の開催がカリキュラムに入れられました。京都府健康福祉部の薬務課が事務局となり組織されている薬物乱用防止指導員協議会にもその一員として保護司が参加し、市内の小中学校でその講師を務めています。

この度は主に中学生を対象に、薬物乱用防止教室を開催し、その予防を図ることを目的に、本事業を実施しました。

## 上京中学校での薬物乱用防止教室

7月14日、同校の多目的ルームで3年生を対象に薬物乱用防止教室を開催。

最初に、上京区における薬物事犯の事例や防止策についての取り組みを説明し、プロジェクターを使って違法薬物使用の弊害や後遺症を解説。その後、薬物使用を勧める側と断る側に分かれロールプレイングを実施。





## 薬物乱用防止啓発パネル展示

9月9日から9月22日まで、上京区総合庁舎1F区民交流ロビーで薬物乱用防止啓発パネル展を開催。

京都市医療衛生企画課薬務係調整の啓発パネル8点、過去に京都市が作成した啓発ポスター4点、そして今までに上京保護司会が実施した薬物乱用防止に係る事業を紹介した写真パネル7点をキャプションを付けて展示。

## 薬物乱用防止街頭啓発

11月8日、上京区烏丸今出川の交差点4ヶ所で、特に大学生や青少年を対象に薬物乱用防止を謳ったリーフレットと啓発ティッシュペーパーを一声添えて配布し、街頭啓発活動を行う。



▲配布用に薬物乱用防止の標語「ダメゼッタイ。」をタイトルにしたリーフレットを差し込んだポケットティッシュ



▲交差点東北の地下鉄乗降口で



▲薬物乱用防止のノボリを掲げ啓発



▲交差点北西で道行く人に配布